

2020年度の熊本県名目経済成長率は▲0.4%

～復興需要等が一服するも高水準は維持～

- 2020年度の県名目経済成長率（GDP）は、復旧・復興関連の需要が一服することなどから2年連続の減少を見込む。
- しかしながら、依然として「住宅投資」や「公共投資」は震災前に比べて高い水準にあり、県名目GDPは6兆円台を維持する見通し。

1 2019年度の熊本県経済

2019年度の県内経済は、国際スポーツイベントの開催や、中心市街地の再開発事業の完成、海外のICT関連需要による押し上げなどがあったものの、復旧・復興需要に一服感がみられたことに加えて、消費増税や暖冬の影響などから、全体としてはやや減速感がみられた。

個人消費：消費増税の影響や暖冬の影響等もあり減少。

設備投資：復旧・復興需要が一服するが、中心市街地の再開発等が底支えし大幅増。

住宅投資：水準は依然として高いものの、消費税の影響等も重なり大幅減。

政府支出：高齢化に伴う社会保障費の増加に加えて、幼児教育無償化や消費増税の負担緩和策等により増加。

公共投資：震災前に比べて水準は高いものの、復旧・復興工事に一服感がみられ減少。

上記のような状況を勘案し、2019年度の熊本県の名目経済成長率は▲0.1%と予測した。

<予測方法について>

国や熊本県の過去の諸データや国内の経済動向見通しを基に、当研究所作成の計量計算モデルを用いて2018年度から2020年度を算出した。

図表1 熊本県の名目GDP及び構成項目

億円、前年比(%)

| | 2015年度 | | 2016年度 | | 2017年度 | | 2018年度 | | 2019年度 | | 2020年度 | |
|----------|--------|-----|--------|------|--------|-------|--------|------|--------|------|--------|-------|
| | 実額 | 成長率 | 実額 | 成長率 | 実額 | 成長率 | 実額 | 成長率 | 実額 | 成長率 | 実額 | 成長率 |
| 名目GDP | 56,553 | 2.3 | 58,919 | 4.2 | 60,596 | 2.8 | 60,675 | 0.1 | 60,584 | ▲0.1 | 60,354 | ▲0.4 |
| 民間最終消費支出 | 34,602 | 0.0 | 34,509 | ▲0.3 | 35,007 | 1.4 | 35,689 | 1.9 | 35,023 | ▲1.9 | 34,688 | ▲1.0 |
| 民間企業設備投資 | 8,880 | 0.0 | 8,613 | ▲3.0 | 9,436 | 9.6 | 8,681 | ▲8.0 | 10,058 | 15.9 | 9,028 | ▲10.2 |
| 民間住宅投資 | 1,808 | 0.0 | 2,228 | 23.2 | 3,083 | 38.4 | 2,783 | ▲9.7 | 2,554 | ▲8.2 | 2,467 | ▲3.4 |
| 政府最終消費支出 | 15,857 | 0.0 | 17,160 | 8.2 | 17,049 | ▲0.6 | 16,571 | ▲2.8 | 16,962 | 2.4 | 17,156 | 1.1 |
| 公的固定資本形成 | 3,728 | 0.0 | 4,665 | 25.1 | 5,550 | 19.0 | 5,422 | ▲2.3 | 5,327 | ▲1.8 | 5,281 | ▲0.9 |
| 移出入(純) | ▲8,113 | 0.0 | ▲7,705 | 5.0 | ▲9,909 | ▲28.6 | ▲8,851 | 10.7 | ▲9,720 | ▲9.8 | ▲8,646 | 11.0 |

資料：県民経済計算（熊本県） ※2018～2020年度は当研究所予測

2 2020年度の熊本県経済

総固定資本形成（設備投資、住宅投資、公共投資）は高い水準を維持するものの、復旧・復興需要が一服し、全体としては減少する見通し。

上記のような状況を勘案し、2020年度の熊本県経済は6兆円台の高水準は維持するものの、▲0.4%と2年連続の減少を予測した。なお、2020年1月に発生した新型コロナウイルス流行の影響が長引けば、成長率をさらに押し下げる可能性もある。

【個人消費（民間最終消費支出）】 2020年度 ▲1.0%

雇用環境の改善が期待されるが、消費増税の影響等から弱含む。

【設備投資（民間企業設備投資）】 2020年度 ▲10.2%

熊本駅前の再開発等による押し上げが期待されるが、復旧・復興需要の一服感に加えて、前年度の中心市街地の再開発等の反動減の影響等で大幅減。

【住宅投資（民間住宅投資）】 2020年度 ▲3.4%

依然として水準は高いが、需要の先食い（被災住宅の建て替え等）の影響等で減少。

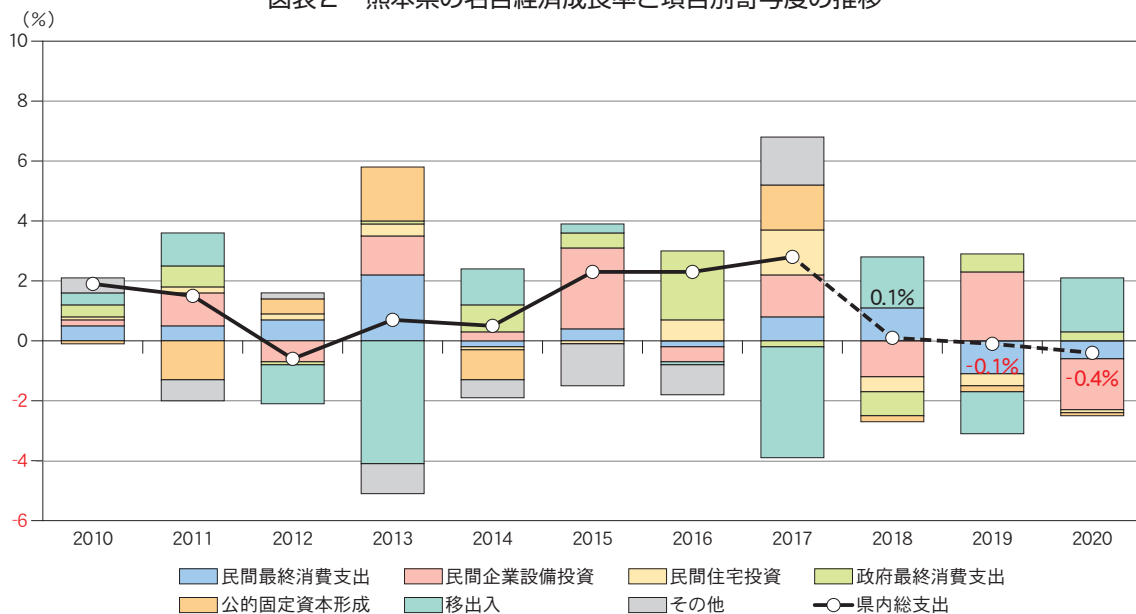
【政府支出（政府最終消費支出）】 2020年度 +1.1%

高齢化に伴う社会保障関連支出の増加等が影響。

【公共投資（公的資本形成）】 2020年度 ▲0.9%

政府の国土強靱化関連工事などが見込まれるが、復旧・復興工事が一服し微減を見込む。

図表2 熊本県の名目経済成長率と項目別寄与度の推移



資料：県民経済計算（熊本県） ※2018～20年度は当研究所予測